

各エディションの機能比較	MAXQDA	MAXQDA Analytics Pro	Reader
質的データ分析	✓	✓	MAXQDAで作成したファイルを開覧するためのフリーソフト
量的テキスト分析	✓	✓	
統計データ分析		✓	

オプション (2025年2月現在)

文字起こし	AIアシスト	チームクラウド	最新情報はこちら!
日本語を含む約50の言語に対応した高精度な自動文字起こし機能。	OpenAI社とのコラボレーション! 文章の要約やコードの提案など、AIが分析をサポート。	チームでの分析に特化した、研究の進捗管理やデータ共有に便利なクラウド機能。	

動作環境 (2025年2月現在)

	Windows	Mac
OS	Windows10以上 ※64bit(32bitは非対応)	MacOS 10.14以上
CPU	最小: 2コア1.6GHz 推奨: 4コア以上かつ2GHz 以上 ※ARMプロセッサ搭載のタブレットコンピュータは動作対象外	最小: 2コア1.6GHz 推奨: 4コア以上かつ2GHz 以上 ※Apple Silicon搭載機/Intel搭載機両対応 ※タブレットコンピュータは動作対象外
RAM	4GB 以上 推奨: 8GB以上	
インターネット接続	ライセンス認証/各オプション機能利用時に必須	

ライトストーンのご紹介



MAXQDA導入ガイド(PDF)

ライトストーンテクニカルスタッフが「初めてMAXQDAを使う方には、ぜひこの機能を知って欲しい!」と思った機能を厳選して作成した、ライトストーンのオリジナル操作資料です。初心者の方が躓きがちなMAXQDAの導入部分を徹底解説&サポートします。



ウェビナー

基本操作から分析機能まで、幅広い操作方法が学べる無料ウェビナーを毎月開催。MAXQDAの実際の画面を表示しながらウェビナーを進行しますので、「画像や文章だけではきちんとした使い方が出来ないかわからない」と感じている方に特におすすめです。



<https://www.lightstone.co.jp/maxqda/webinar.html>

ワークショップ

質的研究の専門家をお招きして、質的データ分析の基礎とMAXQDAの基本操作を学べるワークショップを毎年開催しています。



<https://www.lightstone.co.jp/maxqda/workshop.html>

出張トレーニング

日本全国ご指定の場所にMAXQDAアドバイザーを派遣します。トレーニング内容は、ご要望に合わせてカスタマイズできます。



<https://www.lightstone.co.jp/maxqda/onsite.html>

MAXQDAの使い方(Web)

毎月更新中!

多様なMAXQDAの機能を「データのインポートと整理」「データの分析」「図解ツール」「複数人で分析する」などのシーン別にご紹介しています。



<https://www.lightstone.co.jp/maxqda/learning.html#10>

日本語テクニカルサポート

MAXQDAのインストールや操作方法に関するお問い合わせを無償で承ります。困ったときはサポートにご相談を!

ライトストーン ユーザ限定!



30年の経験と実績でお客様をサポートします。

正規国内代理店



株式会社ライトストーン



〒101-0031
東京都千代田区東神田2-5-12
龍角散ビル7F

<https://www.lightstone.co.jp/maxqda/>
E-mail: sales@lightstone.co.jp

開発元

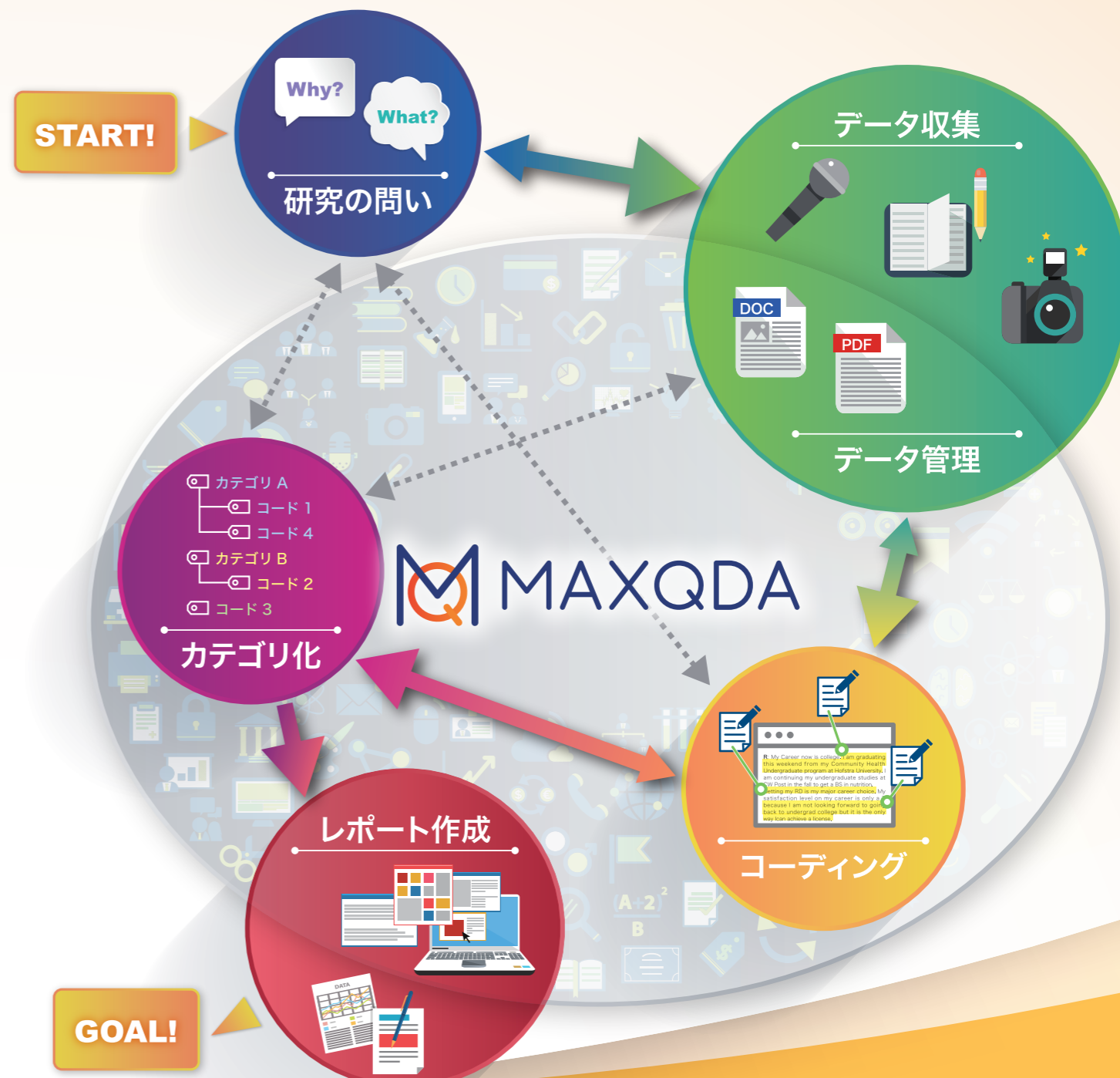


Software - Consult -
Sozialforschung GmbH
VERBI Software, Consult, Sozialforschung GmbH

質的データ分析支援ソフトウェア



これ1つで質的データの管理、分析、可視化、レポートの作成が可能!
テキスト、写真、インタビュー、アンケート自由記述をはじめ、様々な質的データに対応。
GTAや混合研究法、テーマ分析などあらゆる研究法に対応する分析支援ソフトウェア。



MAXQDA ライトストーン で検索!

データの収集・体系化・分析・可視化・レポートの効率化にお役立てください

データ収集・管理

- テキスト、Excel表、画像、音声、動画、YouTubeコメント、Microsoft Teamsの書き起こしファイルなど、あらゆる形式のデータをインポートして一括管理
- EndnoteやMendeleyなどの文献管理ソフトからのインポートも可能
- 日本語対応自動文字起こし(オプション)

データ一覧

- 文書を自由にグループ分けして整理
- 文書に紐づく量的データ(人の年齢や性別など)を使用して自動的にグループ作成

レポート作成

分析・可視化

コーディング画面

メモ

- 研究のアイデアを書き留めるメモをあらゆる場所に貼り付け可能
- 作成したメモの一覧表示、並べ替え、検索、リンク、グループ分け

コーディング・カテゴリ化

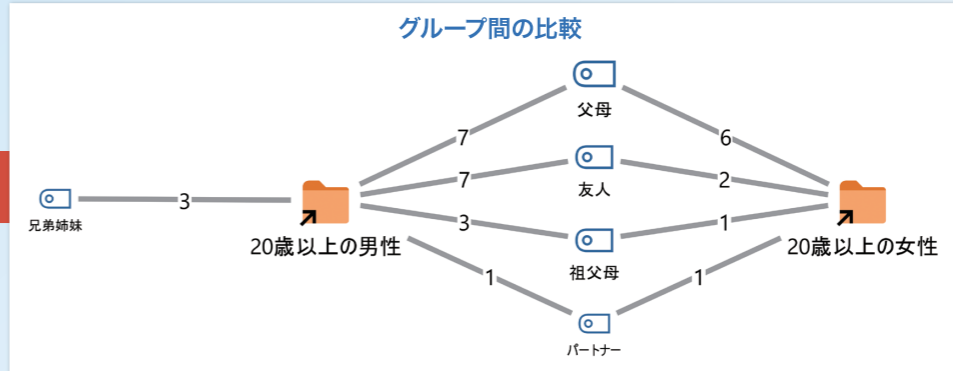
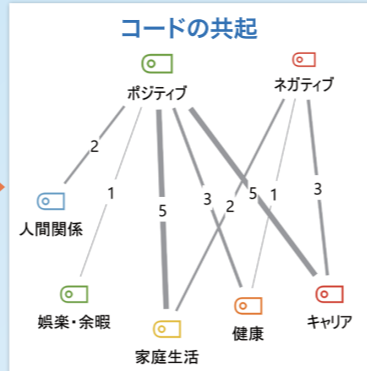
- 文章、画像、音声、動画に対して直接コーディング
- GTAのためのオープンコーディング、文章をそのままコード名にするインビボコーディングにも対応

コード一覧

辞書を用いた自動コーディング

例) プラスの感情/マイナスの感情の単語を辞書登録し、自動検索&コーディング

- 作成したコードをツリー形式で表示
- ドラッグ&ドロップで簡単にコードを整理(カテゴリ化・コードの統合)
- ツリーの左側ほど抽象度が高く、コードの構造を直観的・視覚的に把握可能
- コードの数による文書のグループ分け



事例-コード・マトリックス

コード	文書1	文書2	文書3	文書4	文書5
人間関係	1	2	3	4	5
ポジティブ	2	3	4	5	6
ネガティブ	3	4	5	6	7
家庭生活	4	5	6	7	8
健康	5	6	7	8	9
キャリア	6	7	8	9	10

QTTワークシート

- 研究の問いやテーマごとに設定し、関連するコーディング結果やメモ、図表、サマリーを一箇所にまとめ、結論やさらなる疑問などを総括
- ワンクリックでWord形式のレポートとして出力

- コードを付与したセグメントを数クリックで検索し一覧表示、エクスポート
- 検索結果から元データへ瞬時に移動

量的テキスト分析

- 単語の頻度と組み合わせの分析
- 文中キーワードの分析
- 辞書機能を使った内容分析

統計分析 Analytics Pro限定

- コードの頻度・年齢・性別などの属性情報を統計分析
- 度数分布表
 - 記述統計
 - クロス表
 - 相関
 - 信頼性
 - 一元配置分散分析

数値データの裏付けで質的分析の説得力アップ